

**2022年度 京都大学フィールド科学教育研究センター
舞鶴水産実験所 公開実習「魚類生態学実習」「無脊椎動物学実習」
(*海洋生物科学技術論と実習Ⅰ・海洋生物科学技術論と実習Ⅱ)
実施要項**

1. 授業科目：魚類学実習・無脊椎動物学実習

*京都大学農学部特別聴講学生として受講する場合の科目名は、

それぞれ、海洋生物科学技術論と実習Ⅰ、海洋生物科学技術論と実習Ⅱ

京都大学農学部特別聴講学生としての受講が可能であり、本学より単位を発行する(各2単位)。ただし、単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。特別聴講学生とならずに実習に参加する場合は修了証を発行する。なお、魚類学実習と無脊椎動物学実習は連続して実施されるが、それぞれ独立した実習科目であるため、いずれか一方のみの受講も可能である。実習は京都大学農学部生と合同で行い、実習期間中は水産実験所の宿泊施設で合宿する。実習の詳細については「**1 1. 実習内容**」を参照すること。新型コロナウイルスの影響により予定を大幅に変更する可能性があるため、京都市左京区の京都大学本部キャンパスに日帰りで通学できることを参加条件の一つとする(参加条件を参照)。

*) 本実習は「水産海洋フィールド教育プログラム」(京都大・長崎大・広島大・北海道大)に含まれます。

2. 実施施設：京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

京都大学本部キャンパス

※自家用車等での来所は認めません。

3. 実施期間：

魚類学実習 2022年8月26日(金)～8月31日(水)

無脊椎動物学実習 2022年8月31日(水)～9月5日(月)

4. 対象学生：

水産学・海洋学・農学・水圏生物環境学に関連した学部及びコース等に所属する学部2・3年次生

※京都大学農学部特別聴講学生としての受講も可能です。特別聴講学生としての受講を希望する

場合については「**9. 授業料及び参加費用**」を必ず参照すること。

5. 定員：魚類学実習・無脊椎動物学実習 各2名

6. 新型コロナウイルス（COVID19）感染拡大予防：

京都大学の感染拡大予防マニュアルに従うとともに、舞鶴水産実験所の特性を考慮した対策指針に則り、今年度は特別に以下の対策のもと実習を実施する。ただし、緊急事態宣言、京都大学の方針、気象警報の発令などにより実習を中止する可能性がある。場合によっては、実習期間中であっても中止となる可能性もある。

京都大学新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限ガイドライン（以下、活動制限ガイドライン）のレベルによって実習日程を変更する（実施2週間前までに決定し連絡する）。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/>

参加条件：

- ・京都市左京区の京都大学本部キャンパスに、自宅あるいは京都市内の宿泊先（ホテル等）から日帰りで通学できること
- ・実習開始前（48時間以内）に抗原検査を実施し、陰性が証明されていること（詳細は実習参加希望者に追って連絡する）
- ・実習前1週間、健康に異常*がなく、海外渡航やCOVID19感染者との濃厚接触もないこと
*異常：発熱（平熱より高い、37.5度以上を目安）、咳、咽頭痛、倦怠感、味覚障害等、COVID19感染が疑われる症状
- ・健康以外の理由により、キャンセルする可能性がほとんどないこと
- ・7月8日（金）18時30分からオンラインで実施されるガイダンスに参加すること（詳細は実習参加希望者に追って連絡する）

生活様式：

- ・各自、マスクと体温計を持参する
- ・体温を1日1回測定して異常が認められた場合はその日の担当教員に報告する
- ・食事は個別にとる
- ・宿泊棟の部屋やシャワーブースは一人ずつ決められた場所を使用する

7. 必要提出書類：

- ・特別聴講学生願書（特別聴講学生になる場合）もしくは受講願（特別聴講学生にならない場合）
- ・受入依頼書（特別聴講学生になる場合）
- ・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険 加入証明（領収書等のコピーでも可）

8. 申込締切：

- ・特別聴講学生になる場合：2022年6月15日（水）必着
- ・特別聴講学生にならない場合：2022年6月30日（木）必着

先着順で申込を受け付け、定員に達した時点で締め切りとする。

9. 授業料及び参加費用：

・授業料

特別聴講学生になる場合：1単位あたり14,800円*

(魚類学実習と無脊椎動物学実習は各2単位)

特別聴講学生にならない場合：不徴収

*) 国立大学生及び京都大学との間に大学間相互単位互換協定を締結する公立・私立大学に所属する学生は、授業料は不徴収となります。詳細は所属大学の教務・学務担当に照会すること。

・参加費用

<活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

○魚類学実習 約3,400円

(これに含まれるのは実習一日目の昼・夕食費と実習二日目の夕食費、実習三日目の昼食費、二泊分の実験所での宿泊費。)

○無脊椎動物学実習 約3,400円

(これに含まれるのは実習一日目の昼・夕食費と実習二日目の昼・夕食費、二泊分の実験所での宿泊費。)

*他の食費、交通費等は各自で準備のこと

<活動制限ガイドラインがレベル2-の場合>

○魚類学実習 0円(食費、交通費等は各自で準備のこと)

○無脊椎動物学実習 0円(食費、交通費等は各自で準備のこと)

10. 提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 FAX：0773-62-5513

E-mail：maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方はメール (maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) にて早めに受講の意思を連絡し、担当職員から必要書類を受け取ること。受け取った書類に必要事項を記載のうえ、パスワードをかけて、メールに添付して申し込む (maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) こと。

11. 実習内容：

(註) 天候の影響等で実習の内容は変更することがある。

○魚類学実習

<活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

・宿泊は舞鶴水産実験所で2泊のみとし、京都大学本部キャンパスで日帰りの実習を行う際は自宅あるいは京都市内の宿泊先（ホテル等）から通うこと。

8月26日：京都大学8時45分集合（9時00分出発） バスで移動

舞鶴水産実験所 シュノーケリング講習 実験所で宿泊

27日：舞鶴水産実験所 砕波帯における仔稚魚調査・プランクトン採集 実験所で宿泊

28日：舞鶴水産実験所 音響観測・データ分析 バスで移動 京都大学18時30分散

29日：京都大学農学部 魚類分類学および解剖学実習

30日：京都大学農学部 動物プランクトン実習

31日：オンライン 音響観測・データ分析 レポート作成

<活動制限ガイドラインがレベル2マイナス(2-)の場合>

・宿泊を伴う実習が禁止された場合は、下記の予定で日帰りの実習を行うが、その際は自宅あるいは京都市内の宿泊先（ホテル等）から通うこと。

8月26日：西舞鶴駅10時15分集合

舞鶴水産実験所 砕波帯における仔稚魚調査・プランクトン採集

西舞鶴駅16時20分散

27日：オンライン シュノーケリング講習，仔稚魚調査解説・データ分析

28日：京都大学農学部 魚類分類学および解剖学実習

29日：京都大学農学部 動物プランクトン実習

30日：京都大学農学部 音響観測・データ分析

31日：オンライン レポート作成

<活動制限ガイドラインがレベル2以上の場合>

・実習は中止とする。

○無脊椎動物学実習

<活動制限ガイドラインがレベル1の場合>

・宿泊は舞鶴水産実験所で2泊のみとし、京都大学本部キャンパスで日帰りの実習を行う際は自宅あるいは京都市内の宿泊先（ホテル等）から通うこと。

8月31日：京都大学8時45分集合（9時00分出発） バスで移動

舞鶴水産実験所 ベントス調査（緑洋丸） 実験所で宿泊

9月1日：舞鶴水産実験所 ベントスDNA抽出，PCR，シュノーケリング講習 実験所で宿泊

2日：舞鶴水産実験所 シュノーケリングによる生物観察 バスで移動

京都大学 18時30分解散

3日：京都大学農学部 ベントス分類・計数

4日：京都大学農学部 ベントス DNA データ解析

5日：オンライン ベントス分類・計数・環境データ解説，レポート作成

<活動制限ガイドラインがレベル2マイナス(2-)の場合>

- ・宿泊を伴う実習が禁止された場合は，下記の予定で日帰りの実習を行うが，その際は自宅あるいは京都市内の宿泊先（ホテル等）から通うこと。

8月31日：西舞鶴駅 10時15分集合

舞鶴水産実験所 ベントス調査（緑洋丸）

西舞鶴駅 16時20分解散

9月1日：京都大学農学部 ベントス DNA 抽出，PCR

2日：京都大学農学部 ベントス分類・計数

3日：オンライン ベントス分類・計数・環境データ解説、シュノーケリング講習

4日：オンライン ベントス DNA データ解析

5日：オンライン レポート作成

<活動制限ガイドラインがレベル2以上の場合>

- ・実習は中止とする。